



一般社団法人

埼玉県障害者スポーツ協会だより

第19号



2010（平成22）年12月 一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会発行

〒330-0843 さいたま市大宮区吉敷町1-124 埼玉県大宮合同庁舎3階

TEL 048-650-0170 FAX 048-650-0171 E-Mail 2004@sainokuni-sasa.or.jp ホームページ <http://sainokuni-sasa.or.jp>

彩の国ふれあいピック秋季大会

10歳～92歳までの724人が秋空に躍動

平成22年度彩の国ふれあいピック秋季大会（第23回県民総合体育大会兼第9回埼玉県障害者スポーツ大会）を10月3日（日）熊谷スポーツ文化公園において開催し、昨年を上回る選手724人をはじめ、役員、ボランティアを総勢1,476人参加して行われました。

開会式は一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会塩浦綾子会長の開会宣言で始まり、主催者を代表して上田清司埼玉県知事から挨拶をいただきました。ご来賓の小谷野五雄埼玉県議会議長、富岡清熊谷市長からお祝いの言葉をいただいた後、選手を代表して春日部市の佐藤和也さん、吉住勇紀さん、下津濱太貴さん、野呂田尚樹さんの4名が息のあったチームワークで選手宣誓を行いました。



陸上競技、フライングディスク、ボッチャ、四面卓球バレー、ゴールボール、スポーツいろいろ体験、レクリエーションダンス、ハンドサイクルの8競技の他、施設等による出店の「ふれあい広場」やランチタイムイベントとして秩父屋台ばやし・バンド演奏が行われ、真剣に競技に挑戦する姿、熱い応援、友人との語りなど、あちらこちらから歓声が聞こえ、会場全体がいきいきとした雰囲気になりました。

本大会は身体障害・知的障害・精神障害すべての障害者にとって親しみやすいスポーツ体験イベントとして実施しスポーツの楽しさを体験していただくことを目的に、埼玉県障害者スポーツ協会加盟団体が運営にあたる手作りの大会で、今後もスポーツの楽しさを実感していただける大会を目指します。

大会会長あいさつ

埼玉県知事 上田清司

「スポーツで得た自信を力に」



本日は、「彩の国ふれあいピック秋季大会」が小谷野五雄県議会議長をはじめとする県議会議員の皆様、地元熊谷市の富岡清市長をお迎えし、県内各地から大勢の選手の皆さんに御参加いただき、盛大に開催されることを大変嬉しく思います。また、大会を運営される多くの役員・ボランティアの皆様、障害者団体の皆様には本大会の開催に多大な御尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

この大会は、障害のあるすべての方にスポーツを楽しんでもらおうという、県内でも最大級のスポーツ大会です。日ごろスポーツをしていない方や、体力に自信のない方でも楽しめる種目もたくさんあります。選手の皆さんには、日ごろの練習の成果を発揮するとともに、交流する機会がない選手とも積極的に交流を行い、一緒にスポーツを楽しんでいただきたいと思っております。

人間は誰もが無限の可能性を秘めています。私は、たとえ障害があっても、本人の努力とそれを支える人たちのサポートがあれば、夢をかなえることができると考えています。今年3月に開かれたバンクーバー冬季パラリンピックでは、本県出身の遠藤隆行選手が見事メダルを獲得されました。アイススレッジホッケー日本代表チーム主将を務められた遠藤選手は「自信を持って生きてきたから、ひとりで富士山にも登れたし、バンクーバーで銀メダルを取れた。」と語っています。また、埼玉県には天才クライマーといわれた加藤保男という偉人がいます。エベレストに青春のすべてをかけた彼はその初登頂にチャレンジする中、凍傷で足の指すべてと右手の指3本を失いました。誰もが「彼はもう二度とエベレストには登れない」と考えました。しかし、山に魅せられた彼は執念を燃やし血のにじむようなリハビリを乗り越えて厳冬のエベレストに挑戦。見事に3度の登頂に成功しました。

私の好きな言葉に「夢は逃げない、逃げるのは自分である」というものがあります。これは、パラリンピックなど世界に挑む選手を激励する際にも贈っている言葉です。本日御参加の皆様お一人お一人が夢を持ち、その実現に向け日々努力を重ねておられることと思います。私の夢は、七百十八万県民の皆さんが夢をかなえる舞台となるチャンスあふれる埼玉をつくることです。私はこれからも努力する人が報われる共生社会を皆さんと一緒につくっていく決意です。どうか皆さんにはスポーツを通じて得た自信を力にし、様々な分野にチャレンジしていただきたいと思っております。

結びに、本大会の御成功と御参加の皆様の御活躍を期待申し上げて、私のあいさつとさせていただきます。

（要旨）

彩の国ふれあいピック秋季大会



準備体操



ふれあい広場



陸上競技 リレー



選手宣誓
(春日部市)



スポーツいろいろ体験



レクリエーションダンス



フライングディスク
ガッツフリスビー5対5



バンド演奏
(アフターファイブ)



秩父屋台ばやし
(自立工房山叶本舗)

秋季大会に参加して・・・

もともと運動が好きなので、楽しく参加することができた。
本格的な競技場でプレーできて嬉しかった。【陸上競技参加者】

ボランティアとして初めて参加しました。
競技のことをよく知らない私でもお手伝いできることがあ
って嬉しかったです。もっと色々な人に参加してもらって、人
の輪を広げていけたらいいなと思いました。【学生ボランティア】

初めての参加者もいましたが、説明が分かりやすくとてもよ
かったです。競技の進行もとてもスムーズだったと思います。【引率者】

この大会は、来年で10回目と
なります。

記念すべき第10回大会、参加
する皆様に「楽しかった」「ま
た参加したい」と感じていた
だける大会を目指します。



埼玉県のマスコット
コバトン

全国3位の金メダルと全国1位の友情を獲得

第10回全国障害者スポーツ大会ゆめ半島千葉大会が10月23日（土）～25日（月）の3日間、千葉県内各地で開催され、埼玉県選手団106人（選手65人役員41人）が参加しました。

埼玉県選手団は、陸上競技・水泳・アーチェリー・卓球・フライングディスク・ボウリングの6競技に参加し、日頃の練習の成果を発揮し、金メダル36個・銀メダル26個・銅メダル29個を獲得しました。



開会式 入場行進



陸上競技



卓球

大会参加選手・役員のコメント

陸上競技選手・市川達「全国障害者スポーツ大会は2年ぶりに出場しました。3回目になります。県代表として、走高跳と100m走に出場しました。僕は2部の走高跳の大会記録を持っています。本番は曇りで、気温が低く肌寒かったです。ジャンプの時体が動かない不安でした。ミスしないように自信を持って前方に跳び調子が良かったです。他の選手2位以下は最高1m35cmまででした。僕は1m35cmからスタートして1m55cmでした。自分だけです。ゆっくり休み時間がとれません。疲れたけど、苦勞して基礎体力で精一杯頑張っ金メダルを獲得しました。大会タイ記録3連覇を達成しました。晴天だったら体温が良く、更新大会記録は可能だったと思います。ボランティアの人たちや、他県選手団の交流が良かったです。いい思い出になりました。来年も更新大会記録を目指して頑張りたいと思います。」

フライングディスク競技選手・北田八千代「ルールも知らず、誘われるままに始めたフライングディスクですが、障害者スポーツとは言うものの、生涯スポーツとしても立派な地位を確立していると思います。ゴールにとらわれることなく、平常心で、個人差はあるもののその人に適した姿勢・構え・スローイング・残身といった一連の動作がきれいに決まると、見ている人の気持ちをつかみます。指導を受けながらその姿の向こうにある大事なものが少しずつ感じられるようになり、そんな心・技を身につけられたらと思うのですが、長い経験とその人の培ってきたものは一朝一夕に身に付くものではありませんが、心がけることはできると思いました。いわゆるスポーツ界でいわれる「スポーツマンシップ」は武道界で言う「至誠と礼節・和敬」に通ずるものがあると思います。今回参加させていただいたお陰で多くの人と出逢い、大に小に教えられ、考えさせられた6日間はそんな事をより強く感じさせてくれました。そんな人達の歩いてきた道にいろんな種をまいてくれ、笑って思い出せる花を開花させてくれることを願いつつ、より楽しく、より正しく、より遠くへ、種にこめられているメッセージを多くの人々の胸元に届けられたらと思っています。それが大会をフライングディスクを裏で表で支えて下さっている方たちにできるささやかな恩返しでしょうか。明日は何に出会おうかな？つたない文で今の気持ちを書き表す機会のあたえられたことにも重ねて感謝です。何事も経験でした。本当にありがとうございました。」

ボウリング競技選手・北條直子「こんにちは。私は埼玉県選手団ボウリングチームの北條直子です。第10回全国障害者スポーツ大会の開催に先立ち「ゆめ半島千葉大会 ゆめ半島みんなが主役 花咲く笑顔」のスローガンのもと地元の方々選手を応援する方々、そしてこの国体を支え成功へと導いてくださった多くの方々、この第10回大会の節目であり代表選手に選ばれたことを誇りに思い、光栄です。私達ボウリングチームの会場はJFE千葉リバーレーンでした。期待と緊張のある中、迎えた大会では、国体のスローガン通り出逢った人たちと試合中の選手たちの笑顔と交流の良さと互いに声を掛け合いストライクやスペアがとれた時は、お互いに大きな喜びを分け合い女性指導者の教えのもと、あまりボウリングのうまくない私でもとてもリラックスして投球に集中することができ、日頃の練習の成果をはっきりと共にもまた来年開催される「山口国体」への大きな支えと希望が変わりました。最後になりますが、本当にこの6日間楽しい思い出をありがとうございました。ぜひ山口国体でお会いしましょう！！」

卓球競技選手・柳澤有紀「埼玉大会以来、今回6年ぶりの全国障害者スポーツ大会ゆめ半島千葉大会に埼玉県代表で卓球知的の部で参加しました。開会式の幕張メッセは大きい会場で広くて本当にびっくりしました。閉会式ではディズニーのキャラクター達に会えて嬉しかったです。アツキヨのステージも見れて嬉しかったです。ボランティアの人達とも仲良くなって楽しい時間を過ごすことができました。卓球選手、コーチとも仲良くなって話をしたり、あつと言う間の五泊六日の長旅でした。試合もがんばり、銀メダルをとれました。来年の山口大会に向けて、練習をがんばります。私にとって久しぶりの全スポでしたが、白石さんをはじめ卓球を教えてくれた方々、未来の仲間、家族に感謝します。これからまた仕事をがんばります。卓球もがんばります。本当にいろいろお世話になりました。ありがとうございました。」

アーチェリー競技監督・福田孝一「全国障害者スポーツ大会の監督として何回か参加していますが、今回は特に感動させられた事がありました。アーチェリー競技は36射を2回行ってその合計点数で勝敗を競います。競技中ちょっと気にしていたのですが、齋藤選手の動きに何しているのかな？という事がありました。特に3射毎の点数に大きな変化はなかったので、大会の進行を見ていました。最終の3射を射ち終わった後、彼は帽子をとり涙を拭いているのです。何事と思い飛んで行くと何でもないと言いました。疑問が解けたのは後になってからです。彼は手首に感謝の言葉を書いていました。『みなさんに感謝、ありがとう』と。それを見て1射1射に臨んだとのことでした。最終の3射は、障害を持ち社会に出るまで、出てから退職するまで、大会出場までのみんなにそれぞれ感謝の気持ちを込めて射ったとのことでした。成績は599点、堂々の金メダルでした。大会は多くの役員、ボランティア、補助員により大変スムーズに行われ、大変楽しい大会でした。」

成績優秀者一覧

陸上競技コーチ・高橋文孝「去る10月23～25日の3日間、第10回全国障害者スポーツ大会「ゆめ半島千葉大会」が開催され、埼玉県選手団計106名が参加しました。記録的な猛暑の中、8月から1回の強化練習会や合宿を行い、各選手とも本大会へ向けて着々と準備を進めてきました。全国大会という計り知れない緊張感の中で、埼玉県選手団は日頃の練習の成果を十二分に発揮し金メダル36個、銀26個、銅29個を獲得しました。また、惜しくもメダル獲得を逃した選手も自己ベストを更新したり、粘りある競技を展開し大いに健闘しました。選手の競技開始前の緊張した表情、競技終了後の安堵の表情、メダル獲得した際の歓喜の表情等を間近で感じ、自分自身も選手と同じように緊張し、安堵し、歓喜していました。ひたむきに競技を行う選手の姿を見て、スポーツのすばらしさを再確認するとともにたくさんの勇気をもらいました。本大会は、障害のある方が競技等を通じてスポーツの楽しさを体験する場であり、人との出会い・交流の場でもあります。選手の皆さんにとって本格的な競技場で多くの声援を浴びながら競技できたこと、練習で流した汗人との出会いや別れ等、経験したすべてが今後生きていく上で糧となるものと思います。最後に大会開催にあたり、ご支援・ご尽力いただいたご家族及び埼玉県役員、開催地である千葉県役員・ボランティアの皆様に感謝申し上げます。」

陸上競技コーチ・畦田恒洋「『君達の顔は、立派な競技者の顔になっていた』帰県日の10月26日、鐘塚公園で行われた解団式の後、6日間を共にした選手・監督・コーチが集まり最後のお別れの挨拶での、増田コーチの一言である。7月10日、彩の国すこやかプラザで行われた埼玉県選手団第一回説明会から大会を終えるまでの、約3カ月間にわたる選手達の成長を一言で表すにふさわしい言葉であった。7月10日、彩の国すこやかプラザで行われた、ゆめ半島千葉大会埼玉県選手団第一回説明会で、私は選手達と初めて対面した。通い慣れない場所、他の競技選手、スタッフ、保護者など大勢に囲まれ、選手達の表情は硬く不安と緊張が入り混じっているのが一目で分かった。その分、幼さも感じさせ、とてもこれから「戦う」という雰囲気は感じさせなかった。その後、記録的な猛暑に見舞われた8月に行われた合宿、9月・10月に行われた強化練習会、結団式などを通じて、選手達は少しずつ不安を希望に、緊張を自信に変えていった。また寝食を共にしたことや厳しい練習を切磋琢磨し、共に乗り越えたことでチームの意識は一つとなり、大会に向けて「戦う」という雰囲気ができた。しかし、埼玉県代表としてまが玉のユニフォームを身につけ、全国大会という大舞台で競技するという事は、容易なプレッシャーではない。いざ千葉県入りし、試合前日になっていまにも泣きだしそうな者、メダル獲得を公言する者、アクシデントに見舞われて大切な眼鏡を破損してしまった者・・・選手それぞれの、さまざまな思いが駆け巡る中、大会当日を迎えた。出場選手17人中12人が初参加ということもあり、応援する側にも不安と緊張が走る。しかしその緊張も、開始わずかで解けた。応援者側の心配をよそ眼に他県の選手と堂々と競い合う選手達がそこにいた。3カ月前の、緊張と不安が入り混じっていた顔はもうそこには無かった。自信に満ち溢れ、競技を楽しみ、正々堂々と戦い抜こうとする17人の選手がいた。まさに競技者の顔つきだった。今大会を通じて選手の成長ぶりには大いに驚かされたが、選手の競技場を離れてからのオンとオフの使い分けも目を見張るものがあった。競技場を離れてからは監督・コーチ陣と一緒にになり、たあいもない話で盛り上がり、常に談笑していたように記憶している。大会最終日に、選手達につけてもらった『埼玉県のお笑い担当』と言うあだ名は、私にとって一つの勲章であり、忘れることのないかけがえのないものとなった。今回私のような者が選手達のサポートにあたり、無事に大会を終えることができたのも、事務局・選手団をはじめ多くの方々に支えていただいたおかげである。心から感謝の意を表したい。またボランティアとして嫌な顔一つせず、埼玉県の為に尽力して下さった千葉県スタッフの方々にも、この場をお借りして御礼申し上げたい。ありがとうございました。」

卓球競技コーチ・中山洋子「卓球競技のコーチとして初参加ということで千葉へ出発する前は少しの不安と緊張感がありましたが、選手の皆さんの笑顔と明るさ、監督や先輩コーチの方々とのさりげないフォローのおかげで、翌日の朝には不安も緊張感もなくなっていました。選手団をお世話してくださる千葉県の役員・学生ボランティアの方たちにもたくさんの笑顔と優しさをいただきながら、全員で一致団結の6日間は感動に満ちた、あつという間でした。監督をはじめコーチの方々、総務の役員の方々も選手の体調管理、精神面のフォローなど、目に見えない部分でいつもとっても気を遣っていらっしゃいました。そういうサポートがあるから選手の皆さんは安心して試合に臨めるのだと実感しました。選手の皆さんは、成績はどうであれ、一人ひとり、あきらめることなく、日頃の練習以上の持てる力を出し切ったから、闘い終わったあとは充実感に満ちた、とっても素敵な顔になっていました。それを見ていて、わたしもとてもうれしく、また羨ましくも思いました。最後に、関わって下さった皆さんに感謝、感謝！！『埼玉県選手団！本当に素晴らしかったです。有難うございました！』」

競技	種目	名前	記録	順位	備考		
陸上競技	50m	田中光人	6秒70	1			
		中馬直大	43秒72	2			
		村岡桃佳	20秒07	2			
		柴崎一馬	12秒65	3			
		市川達	14秒83	3			
		加賀美美優	14秒82	2			
		田代広幸	12秒54	1			
		鈴木賢	11秒97	1			
		内田悠里	14秒64	1			
		川田光輝	12秒54	3			
	100m	北野愛衣香	15秒05	3			
		村岡桃佳	37秒13	1			
		大木阿那	49秒11	1			
		田代広幸	25秒57	3			
		鈴木賢	24秒93	2			
		内田悠里	30秒50	1			
		北野愛衣香	31秒73	3			
		加賀美美優	1分20秒73	3			
		山寺大輔	1分00秒57	3			
		斉藤八千代	1分09秒69	1			
	200m	岡田亜弓	2分39秒85	1			
		五十嵐桃子	2分56秒09	2			
		岩附秀和	2分12秒28	2			
		斉藤八千代	2分43秒51	3			
		岡田亜弓	5分27秒75	1			
		林有希	6分47秒79	2	大会新記録		
		大木阿那	8分26秒58	1			
		柴崎一馬	5分05秒06	3			
		川田光輝	4分36秒79	2			
		岩附秀和	4分30秒86	2			
	400m	川田光輝	5m22cm	3			
		市川達	1m50cm	1	大会タイ記録		
		柴崎潤一	31m72cm	1			
		三浦一二三	24m99cm	2			
		林有希	46m04cm	1			
		玉代勢一巳	25m95cm	2			
		丸山渥太	62m59cm	1			
		柴崎潤一	14m56cm	1			
		三浦一二三	16m22cm	2			
		玉代勢一巳	19m07cm	1			
	800m	加藤尚弥	23m11cm	3			
		中馬直大	1分03秒00	1	大会記録		
		小谷野莉沙	53秒07	3			
		田代広幸					
		鈴木賢	49秒91	2			
		内田悠里					
		川田光輝					
		田中博子	23秒76	2			
		木村梓	19秒63	1	大会新記録		
		宮崎龍一	14秒75	1			
	1500m	宮崎龍一	14秒75	1			
		岡崎正敏	21秒69	1	大会新記録		
		石井康子	1分03秒99	1			
		宮崎龍一	16秒76	2			
		宮崎龍一	20秒71	3			
		齋藤巧	15秒21	2			
		木村梓	44秒21	1	大会新記録		
		岡崎正敏	37秒81	1	大会新記録		
		石井康子	2分17秒48	1	大会新記録		
		土岐慶子	38秒62	3			
	走幅跳	齋藤巧	30秒63	3			
		田中博子	1分01秒99	1	大会記録		
		土岐慶子	51秒85	1			
		齋藤巧					
		中村愛之助	2分20秒94	2			
		土岐慶子					
		宮崎龍一					
		RC30mワラウンド	齋藤竜	599点	1		
		走高跳	大井田弘子	2点	3		
			野口和文	4点	1		
	宮田一彦		4点	3			
	新井理華子		4点	1			
	小林翔		2点	3			
	浅見徹		2点	3			
	柳澤有紀		3点	2			
	小針原一		4点	1			
	北田八千代		8投	3			
	ソフトボール投		岩崎桂祐	9投	1		
		橋本陽子	8投	3			
		原田貴生	9投	2			
		常世駿嗣	7投	1			
		新井孝志	9投	2			
		鈴木拓也	8投	2			
		岸野達哉	8投	2			
		アキュラシー	ディスリフト5	常世駿嗣	42m62cm	3	
		ジャベリックスロー	常世駿嗣	42m62cm	3		
			小澤徳	39m62cm	3		
	新井孝志		46m07cm	1			
	岩崎桂祐		43m50cm	3			
	原田貴生		36m10cm	3			
	鈴木拓也		55m75cm	2			
	岸野達哉		58m10cm	1			
	橋本陽子		34m76cm	3			
	中見有佳		35m77cm	2			
	スラローム		嶋崎祐介	560点	3		
		中原由貴江	581点	1			
		金子奈緒美	464点	3			
		山下臣樹	673点	2			
		北條直子	582点	2			
		アキュラシー	ディスリフト7	常世駿嗣	7投	1	
新井孝志		9投	2				
鈴木拓也		8投	2				
岸野達哉		8投	2				
ディスタンス		座位男子	常世駿嗣	42m62cm	3		
アーチェリー	常世駿嗣	42m62cm	3				
	小澤徳	39m62cm	3				
	新井孝志	46m07cm	1				
	岩崎桂祐	43m50cm	3				
	原田貴生	36m10cm	3				
	鈴木拓也	55m75cm	2				
	岸野達哉	58m10cm	1				
	橋本陽子	34m76cm	3				
	中見有佳	35m77cm	2				
	ディスタンス	立位女子	嶋崎祐介	560点	3		
卓球	嶋崎祐介	560点	3				
	中原由貴江	581点	1				
	金子奈緒美	464点	3				
	山下臣樹	673点	2				
	北條直子	582点	2				
	ディスタンス	立位男子	嶋崎祐介	560点	3		
	新井孝志	46m07cm	1				
	岩崎桂祐	43m50cm	3				
	原田貴生	36m10cm	3				
	鈴木拓也	55m75cm	2				
ポウリング	鈴木拓也	55m75cm	2				
	岸野達哉	58m10cm	1				
	橋本陽子	34m76cm	3				
	中見有佳	35m77cm	2				
	嶋崎祐介	560点	3				
	中原由貴江	581点	1				
	金子奈緒美	464点	3				
	山下臣樹	673点	2				
	北條直子	582点	2				

元パラリンピック選手が熱血指導、夢の世界へ大きな一歩を踏み出す

世界を目指すトップアスリート（陸上競技、水泳、卓球、アーチェリー）の育成強化及び底辺の拡充・競技人口の拡大、社会参加の推進を図ることを目的に「世界にはばたけ！ 彩の国選手育成強化事業」を立ち上げました。

第1回強化合宿は選手39名、スタッフ23名が参加し、11月6日（土）～7日（日）生命の森リゾート日本エアロビクスセンターにおいて実施し、卓球はオリンピック経験者の田崎俊夫氏（所属：協和発酵キリン卓球スクール）を特別講師として招き、ご指導をいただきました。練習後に行った講習会では元パラリンピック選手の原口章氏（アーチェリー）千葉雅昭氏（陸上競技）に世界大会を目指す選手へのアドバイス及び体験談をお話いただきました。



講習会

参加選手コメント

彩の国選手育成強化合宿に参加させていただき、ありがとうございました。2日間、短かったですが、良い練習になったと思います。また、大自然の中で走れて凄く気持ち良かったです。

1日目は600m×1、1000m×5をやって3本目までは良かったが、4本目から脚が上がらなくなってしまいました。その後、補強で普段使わない筋肉を鍛えました。やったことがない方法をやって良いトレーニングになりました。2日目の練習は300m×1、400m×10でしたが、回復途上の右アキレス腱が悪化し、7本目で切り上げてしまいました。身体管理が不足だと感じました。

2日間、練習してみて自分はまだ足りない所が幾つかあったと思います。次回はしっかりケアして万全な状態で練習に邁進したいと思います。【陸上競技 岩附秀和】

第1回目合宿当日、集合場所には様々な選手が集まっていました。アーチェリー・陸上・水泳・卓球の4種目、知的・肢体・聴覚といった他種目合同合宿です。卓球は障害者の大会等で対戦したことがあるメンバーでした。1日目は元実業団選手の田崎コーチのもと、選手7名に対し4時間の指導を受けることが出来ました。恵まれた環境の中まずどこを直すべきか根本的なところをご指摘いただけました。

夜の講習会では、アーチェリーと陸上競技の国際大会で幾度も戦ってきた方の国際大会経験を重ねていく上で心の持ち方が変わっていく・変えていくといったこと等経験談が聴け良かったと思います。



卓球



水泳

私自身も2年前初めてデフリンピックのプレ大会に出場した際、メンタル面でしっかりと自分に打ち勝つことが出来ていなかったもので、メンタルトレーニングの重要性が近年謳われてきておりますがどのようにしてトレーニングを行なうべきものなのかこちらも専門の方の指導を受けたいと思いました。

夜、他競技選手とも交流を図れ楽しかったです。2日目は昨日の復習も兼ね、基礎から見つめ直す必要性を痛感致しました。より上を目指す各競技の選手達と2日間共に出来たことは大変嬉しく、また貴重な経験となりました。

今から2回目が楽しみであり、次はより上の練習が出来るように日々の練習に励んでいきたいと思っております。ありがとうございました。

【卓球 川崎伊智子】

広州2010アジアパラ競技大会

彩の国ゆかりの選手たちが知事を表敬訪問

広州2010アジアパラ競技大会が12月12日（日）～19日（日）の8日間、中国・広州において開催されます。

大会に先立ち、12月3日（金）、日本選手団として参加する埼玉県ゆかりの選手・役員が上田清司埼玉県知事を表敬訪問しました。

選手	アーチェリー	南 浩一	役員	団長	大久保 春美
	柔道	加藤 裕司		副団長	中森 邦男
		高橋 秀克		本部役員	滝澤 幸孝
	シッティング バレーボール	藤井 順子			桜間 裕子
	卓球	金子 和也		看護師	田村 玉美
	陸上競技	高桑 早生		アーチェリー	南 美伸
	ボート	濱田 美穂		卓球	白石 三重子
	バドミントン	三橋 有吾		陸上競技	藤田 勝敏
ゴールボール			江黒 直樹		



大会の結果等につきましては、次号（新年号）でお知らせします。

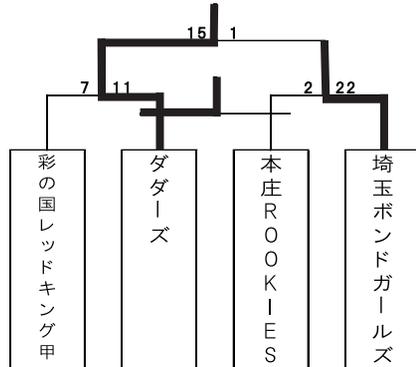
ダダース、久喜特別支援学校が初V

平成22年度彩の国ふれあいピックフットベースボール大会（第23回県民総合体育大会兼第9回埼玉県障害者スポーツ大会）を11月7日（日）熊谷荒川緑地において開催しました。チャンピオンシップの部4チーム、フレンドシップの部8チームが出場し、チャンピオンシップの部はダダース、フレンドシップの部は久喜特別支援学校が初優勝を飾りました。今大会で選考された選手で結成される埼玉県選抜チームは平成23年4月に茨城県で開催される「第11回全国障害者スポーツ大会関東ブロック地区予選会」に出場し全国大会出場を目指します。



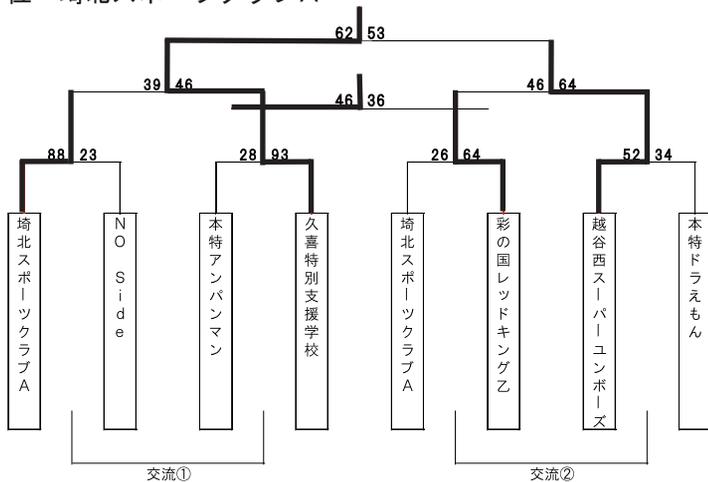
【チャンピオンシップの部】

- 優勝 ダダース
- 準優勝 埼玉ボンドガールズ
- 第3位 彩の国レッドキング甲



【フレンドシップの部】

- 優勝 久喜特別支援学校
- 準優勝 越谷西スーパーユニボーズ
- 第3位 埼玉スポーツクラブA



フットベースボールとは？

ソフトボールのルールを基本とし、ゴム製のサッカーボールを使用します。1チーム15名以内で構成され、競技は9名で行います。

ピッチャーは両手でボールを転がして投球し、キッカーはそのボールを蹴り走塁します。盗塁は認められず、死球のルールも適用されません。

特徴的なルールとして、「停止球」があります。これは、投手が野手からの返球をピッチャーズサークル内で保持したときはボールデッドとし、塁間にいた選手は押し出しの状態にならない限り元の塁に戻るといふものです。

全国障害者スポーツ大会の公式種目となっています。



埼玉県のマスコット
コバトン

彩の国ふれあいピックバレーボール大会（知的障害の部）

埼玉ユニオンズ・さいたま桜が全勝でV 女子は埼玉ドリームA

平成22年度彩の国ふれあいピックバレーボール大会（第23回県民総合体育大会兼第9回埼玉県障害者スポーツ大会）を、11月21日（日）、埼玉県立武道館主道場において開催しました。

男子の部3チーム、女子の部2チームが出場し、男子の部は埼玉ユニオンズ・さいたま桜、女子の部は埼玉ドリームAが優勝しました。今大会で選考された選手で結成される埼玉県選抜チームは平成23年5月に横浜市で開催される「第11回全国障害者スポーツ大会関東ブロック地区予選会」に出場し全国大会出場を目指します。



男子の部



女子の部

【男子の部】

- 優勝 さいたまユニオンズ・さいたま桜
- 準優勝 埼玉ドリーム・男子バレーボールクラブ
- 第3位 さいたまユニオンズ・桜&ふじ

【女子の部】

- 優勝 埼玉ドリームA
- 準優勝 埼玉ドリームB

歓声と笑顔につつまれ県内各地で開催



入間市障害者ボッチャ交流大会



行田市障害者（児）スポーツ・レクリエーション大会【ボッチャ】



羽生市障がい者スポーツ大会【ボール相撲】



松伏町障がい者スポーツレクリエーション大会【団体種目 バケツDEポン】

✽入間市✽

入間市障害者ボッチャ交流大会を、11月6日（土）入間市市民体育館において実施しました。

大会には12チーム（1チーム3人）が参加し4コートに分かれて試合を行いました。タイブレークにもつれ込む接戦が多くみられ、手に汗握る試合展開に会場全体が引き込まれていました。

優勝・準優勝・第3位のチームには金銀銅のメダルが授与され、入賞したチームはもちろん、参加した皆さんの笑顔がいっぱいの大会となりました。

✽行田市✽

行田市障害者（児）スポーツ・レクリエーション大会が、11月13日（土）行田グリーンアリーナにおいて開催されました。卓球バレー、風船バレー、レクリエーション、ボッチャの4種目があり、当協会はボッチャを担当しました。参加者は、時間ごとに各ブースを回りそれぞれの競技を体験します。パラリンピックの正式種目であるボッチャは埼玉県内でも様々な障害のある方に親しまれるようになりました。公式ルールを少し変えて地域の参加者に合ったルールで行われているのが特徴です。この大会でも参加者がより楽しくより白熱した試合ができるよう工夫がされていました。これからも各地でボッチャが広がることを願っています。

✽羽生市✽

第30回羽生市障がい者スポーツ大会が、11月13日（土）羽生市民体育館において開催されました。

輪投げ、パン食い競争、玉入れ競争の他、当協会が提案したボール相撲が団体種目として実施され、盛り上がった試合が繰り広げられました。また、大会の中でボッチャのデモンストレーションを行う時間を設けていただき、参加者に広く知っていただける良い機会となりました。

✽松伏町✽

平成22年度松伏町障がい者スポーツレクリエーション大会が11月20日（土）、松伏町B&G海洋センター体育館において開催されました。

前半はカーリング、ターゲットボッチャ、フライングディスク等の8種目のコーナーを参加者が自由に回って体験し、後半は参加者を2チームに分け団体種目が行われました。様々な種目が体験できるこの大会でお気に入りの種目を見つけた参加者も多く見受けられました。

第2回理事会開催

第2回理事会を11月12日（金）、彩の国すこやかプラザ会議室において開催しました。

提出された議案は収支決算中間報告、新規加入賛助会員・特別会員の承認の2件で、審議の結果、各々異議なく議決されました。その他今年の主要な事業である全国大会、県民大会及び新たな事業として取り組んだ世界にはばたけ！選手育成強化事業の報告がありました。



議事

- 1、平成22年度収支決算報告（中間）
- 2、一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会会員入会の承認
- 3、報告事項
 - ①彩の国ふれあいピック秋季大会
 - ②全国障害者スポーツ大会「ゆめ半島千葉大会」
 - ③世界にはばたけ！彩の国選手育成強化事業

賛助会員・特別会員の皆様

○賛助会員（12月1日現在 団体会員70団体・個人会員95人）

（順不同）

【団体会員】

青木信用金庫
曙ブレーキ工業株式会社
旭科学株式会社
生駒硝子株式会社
株式会社 ウチダオート
浦和ロイヤルパインズホテル
エーザイ株式会社
株式会社 央浦印刷社
金子物産株式会社
川口信用金庫
関東自動車株式会社
共栄企画株式会社
クラブILO
株式会社 グリーン企画社
株式会社 サイゼリヤ 障害者雇用店長会
埼玉グラフ株式会社
社会福祉法人 埼玉県身体障害者福祉協会
埼玉縣信用金庫
埼玉県知的障害児者生活サポート協会
社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会
埼玉県発達障害福祉協会
さいたま商工会議所
財団法人 埼玉新聞社会福祉事業団

埼玉トヨペット株式会社
株式会社 埼玉りそな銀行
斎藤工業株式会社
株式会社 サイドー
サイボー株式会社
澤田ダイカスト工業株式会社
株式会社 島村工業
株式会社 昭和工業
シン建工業株式会社
株式会社 新研設備工業
株式会社 住田光学ガラス
株式会社 全日
株式会社 タイコー興業
太平ビル管理株式会社
株式会社 太陽商工
田中電気株式会社
株式会社 タナベ建設
積田冷熱工事株式会社
有限会社 ティエムエステート
デジコム株式会社
株式会社 テレビ埼玉
東京機器サービス株式会社
東彩ガス株式会社

東神システム株式会社
株式会社 トーシンパートナーズ
永山建設株式会社
日酸 TANAKA 株式会社
日本信号株式会社
株式会社 パーパス
株式会社 ピックルスコーポレーション
北辰図書株式会社
前田印刷株式会社 筑波支店
前田食品株式会社
三国コカ・コーラボトリング株式会社
ミズノ株式会社 大宮営業所
ムサシノ機器株式会社
株式会社 武蔵野銀行
株式会社 メイコー・明高堂
株式会社 森島工務店
八千代工業株式会社
ヤマサキ治療室
山三電機株式会社
株式会社 ヨコハマタイヤジャパン
株式会社 ヨコハマタイヤセンター関東
株式会社 ランドガレージ
株式会社 リサイクルアシスト
株式会社 和幸製作所

【個人会員】

名簿省略

○特別会員（12月1日現在 県内60市町村）

（順不同）

川越市	熊谷市	川口市	行田市	秩父市	所沢市	飯能市	加須市	本庄市	東松山市	春日部市	狭山市	羽生市	鴻巣市	深谷市
上尾市	草加市	蕨市	戸田市	入間市	鳩ヶ谷市	朝霞市	志木市	和光市	桶川市	北本市	八潮市	富士見市	三郷市	蓮田市
坂戸市	幸手市	鶴ヶ島市	日高市	吉川市	ふじみ野市	伊奈町	三芳町	毛呂山町	越生町	滑川町	嵐山町	小川町	ときがわ町	川島町
吉見町	鳩山町	横瀬町	皆野町	長瀨町	小鹿野町	東秩父村	美里町	神川町	上里町	寄居町	宮代町	白岡町	杉戸町	松伏町

賛助会員を募集しています！！

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会は、皆様の会費によって運営されています。障害者のスポーツ活動の普及・充実をはかるには多くの皆様のご理解とご協力が必要です。ぜひとも、賛助会員として皆様のご支援をよろしくお願ひします。ご入会に関するご質問等は、お気軽に当協会までお問い合わせください。

■賛助会員（個人） 1口・・・1,000円

■賛助会員（団体） 1口・・・5,000円

■賛助会員費振込口座番号

振込先名義：一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会

①武蔵野銀行 大宮支店 普通口座 1047615

②郵便局 振替口座 00190-6-559638



埼玉県のマスコット
コバトン

全国障害者スポーツ大会出場を目指してサッカー、バスケットボール、ソフトボール、フットベースボール、バレーボールの関東ブロック地区予選会が、来春関東各地で開催されます。皆様の応援をよろしくお願ひします。
「がんばろう埼玉！！」

